

「山岳部の活動」



工学部高分子工学科2年
矢沢 健太

山岳部の主な活動は山登りです。夏から秋にかけては丹沢、奥多摩を中心にハイキング、テント泊を中心に活動し、長期休暇には北アルプスで合宿を行っています。2013年度から冬山での登山も活動に加え、八ヶ岳、奥多摩と精力的に活動を行っています。

山での環境問題といえば、登山者のごみのポイ捨てが問題となっています。近年の登山ブームの影響のためか、登山人口は確実に増えています。東京近郊の低山では、土日となると頂上は登山者であふれかえるほどです。

その一方で、登山者の増加とともに、登山者のマナーの低下が問題視されるようになってきました。部活動で登る丹沢でも登山者が捨てたごみがいくら目立ちます。



丹沢での集合写真



冬の八ヶ岳

山登りの楽しみの一つとして、里山や山麓を歩いている登山者や地元の人との出会いがあります。

話しかけるかどうかは時と場合と人によりますが、同じ目的で山頂にきた人ばかりなので話も弾みます。すれ違う人に「こんにちは」と一言、挨拶するだけでも気持ちいいものです。しかし登山道に、ごみが落ちていてはせっかくの晴れ晴れとした気分も台無しです。

落ちていたごみは拾って帰るのがマナーですので、拾って帰ります。



御岳でのボルダリング

多くの登山者が訪れる山では、それに比例してごみの量が増えていきます。2013年、世界遺産に登録された富士山での不法投棄問題は世界的にも有名です。山岳部としては、自分たちの活動するフィールドを守るために、部員には登山のマナーを身に付けるよう徹底しています。山での自然を大切にすることは、そのまま普段の生活においても環境に気を配ることへ繋がると考えているためです。

山岳部部員一同、豊かな自然で活動させて頂けることに感謝し、その自然が未来に残せるよう活動を行っています。

5-5 在学生からのメッセージ



「環境NGOからの社会発信」

大学院総合理工学研究科 環境理工学創造専攻
グローバルリーダー教育院1期生

村山・錦澤研究室 博士課程 上地 成就

キャンパスの環境負荷は無視できない

私たち学生が普段過ごすキャンパスからどのくらいの環境負荷が出ているのでしょうか？例えばある大学は東京都内で最も多くの温室効果ガスを排出しています（※）。また、ある大規模な大学では1年間に約1億2千万枚のコピー用紙が使われています。このように大学は教育や研究活動を行って社会に貢献する一方で、同時に大きな環境負荷を与えていることも事実です。本学も例外ではありません。気候変動問題など将来にわたって重大なリスクをもたらす問題に対して、まずは私たちにとって最も身近なフィールドである「キャンパス」から変えていく必要がある、そんな考えから始まったのが” Campus Climate Challenge” (CCC) です。CCCは米国の若者によって始まったキャンペーンで、日本ではエコ・リーグが母体となり2008年から活動が始まりました。私は2009年から参加し2年間プロジェクトリーダーを務めました。元々は大学の環境サークルで活動していましたが、少数精鋭で社会的インパクトの大きな活動に取り組んでいる姿に刺激を受けて取り組み始めました。

(※) ……業務系事業所として



大学への訪問調査



ミーティングの様子

エコ大学ランキングで社会に発信

国内の全てのキャンパスでどのくらいの環境負荷が出されていて、どのような対策が取られているのか。毎年国内全ての大学約750校に対して調査票を送付して回答を集計・分析しています。全国規模でこのような調査・分析を行っている団体は他にないため、調査結果の資料請求や講演依頼も度々受けることがあります。

また、各大学からの回答内容を基に評価を行って「エコ大学ランキング」を策定し、マスメディアを通じて広く社会発信しています。これには、環境対策を熱心に取り組んでいる大学へのインセンティブ創出と他大学へのロールモデルの提示という2つの狙いがあります。ランキング結果は毎年、大手各紙をはじめテレビやラジオにも取り上げられ、大きな注目を集めています。関係者のニーズ調査から企画立案、助成金の申請・獲得、全国規模の調査・分析、そしてメディア戦略まで全ての作業を数名の仲間と共に行っています。活動では当然苦勞することも多いですが、調査・分析など研究にも活かすことのできる経験を得ることができ、またメディア戦略など学生ではなかなか得られないようなスキルや幅広い人脈を築くことができます。



エコ大学ランキング表彰式



大学の環境対策に関する展示会を主催

NPO 法人エコ・リーグについて

エコ・リーグは1994年の設立以来、持続可能な社会の実現を目指し、若者主体の環境活動の活性化に取り組む組織です。大学1年生～若手社会人約70名が参加し、環境就職をテーマにした相談会の開催や国際会議への派遣、政策提言などを行っています。

NPO法人エコ・リーグURL: <http://el.eco-2000.net/>